



はみがきマン通信

発行
内牧小学校
歯・口の健康づくり推進委員会
令和元年（2019）
11月8日（金）第2号

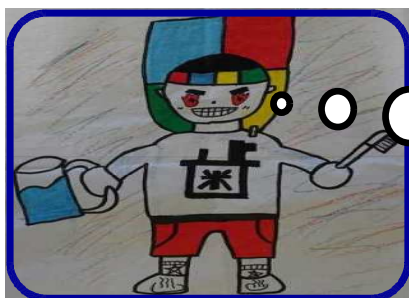
先週、学級活動の時間に2年生は「歯・口の健康づくり」について学習をしました。事前に前歯を染め出し液で染め出して、みがき残しが多いのどこかを確認して、みがき残しのある場所にあった歯みがきの仕方について話し合



いました。大きな歯の模型を使って、歯の形の違いを観察し、どんなみがき方をすればよいか、みんなで考えました。

歯・口の健康づくりのおはなし②

（10/5 PTA 研修会より）



むし歯の予防がとても大切な時期があるんだって、それは6歳～12歳。なぜならば、この時期に永久歯にはえかわるからなんだ。

歯は竹の子のように、はえてから2年～3年くらいはやわらかいため、非常にむし歯になりやすいのです。それをすぎると、かたくなるので、急激にむし歯になるということはあまりありません。歯は、最初に6歳臼歯がはえて、次に前歯がはえます。それから、6歳臼歯と前歯の間の歯がはえ、最後に糸切り歯がはえます。6歳～12歳までの間、つまり小学生の時期に永久歯がはえかわるので、この間にむし歯の予防をすることが大切です。乳歯がむし歯にな



ると、ぬける時期が遅くなり、永久歯の歯ならびに影響が出たり、神経がダメージを受けて、永久歯の寿命に影響が出ることもあるそうです。

